

令和元年度自己評価シート

栗生幼稚園

1. 本園の教育目標

自然農園・体操・音楽の三本柱を中心に保育計画を立て、子ども達が無理なく達成できる様な指導を行う。

- ・大きな声であいさつができる。
- ・友達と仲良く遊べる。
- ・人の話をしっかりと聞くことができる。
- ・戸外で元気に遊ぶことができる。
- ・素直に“ありがとう”と言える。
- ・伸び伸びと自己表現ができる。
- ・自然に親しみ動植物をいたわることができる。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

設定した評価項目に沿って、自己評価をすることにより、教職員自らが客観的に自園を再確認し、保育内容等の改善を主体的に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教職員は園の教育目標を理解し計画的に環境を準備し、保育の充実を図る。	本園の教育課程の再確認や見直しを通じて理解を深め、園長・主任でねらいをたて保育に反映させている。
子どもの主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活ができる様にする。	諸行事の後やいろいろな機会をとらえ、コミュニケーションの楽しさを味わえる様にしている。自然物や素材を楽しめる様にしている。
子どもの実態を的確につかみ具体的に手立てを講じ保育を進める。	教職員は日々保育記録を参考にし、子どもの実態を把握し、各学年で月案・週案・日案の作成に反映させている。
保護者との対話・連絡などコミュニケーションをはかり、問題が生じた時は全職員で対応する。	保育のポイントなどをクラスだより等で知らせ、保護者からの訴え・要望・意見については全職員に報告・相談をしている。
教職員間の連携を充分にはかり資質・教育向上のために研修等に積極的に参加する。	園外の研修に積極的に参加している。又職員会議等において伝達し、共有化を図る様にする。
子育て支援、子育て相談体制の充実に努める。	預かり保育を実施し、保護者の急な用事等に対応する。 未就園児クラスからの引き続いた相談に対応している。
感謝する気持ちをもつようにする。	感謝の言葉が習慣化する様、日常保育でその機会を多く持つ様にしている。

4. 具体的目標や計画の総合的な評価結果

教職員一人ひとりが幼稚園評価の主旨を理解し、適切に自己点検及び自己評価に取り組むことができた。又、施設面では環境整備に力を入れており、昨年度の改修工事後、職員や業者が安全面を話し合いマットの補強、ボルトの安全確認をした。子ども達が安心・安全に遊べる環境になる様に努力しており、改善が図れる様になった。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
資質向上のための充実した研修	年間を通した計画的な研修を積み重ねる事により、質の高い内容を教職員が共有する。
情報公開の方法	現在ホームページや園だより、参観日などを通して保護者への通知・案内には取り組んでいるが、情報発信していく内容をより詳しく出来る様に検討していく。
教育課程・指導計画の編成	子ども達により良い教育を提供する為に現状の教育課程・指導計画にとどまらず、子どもの実態に即し、加筆・訂正を行う。
連携のとれる環境づくり	全員のコミュニケーションが密になるよう、朝礼・終礼以外に月1~2回程度決め、課題を話し合ったり、新しいアイデアを検討する時間を作る。
安全管理	<p>毎学期の避難訓練（火災・地震・不審者侵入）の他、防災訓練や交通安全指導等も関係機関と連携し、取り組んでいきたい。</p> <p>怪我の発生防止のためにも、安全な環境構成、危険対象などについて、再確認する。</p> <p>防犯カメラの設置や遠隔監視の導入等、ハード面での整備の再確認をする。</p>